

社団法人 地盤工学会
技術普及委員会
平成21年度第7回議事録

日時	平成22年3月1日(月) 14:00 ~ 17:00					会場	地盤工学会会議室	
委員長	古屋 弘		幹事	原 忠		幹事	竹山 智英	
委員	前川 太		委員	白石 保津	×	委員	石井 建樹	
委員	王 林	×	委員	秦 樹一郎		委員	伊藤 和也	×
委員	舟橋 景介		委員	北田 貴光		委員	谷本 俊輔	×
委員	栃尾 健		委員	今井 優輝		委員	水野 健太	
事務局	永田 満枝							
: 出席 × : 欠席 : 未定								

報告・確認事項

1. 議事録担当者

秦委員が指名された。

2. 前回議事録の確認(12/22)

承認された。

(資料21-7-1)

3. 第6回事業部会報告(議事録)(1/12)

古屋委員長より報告がなされた。

(資料21-7-2)

4. 第7回理事会報告(1/22)議事録案

古屋委員長より報告がなされた。

(資料21-7-3)

5. H21 年度講習会収支報告

事務局より、21年12月～22年2月の講習会について収支報告がなされた。

(資料21-7-4)

講習会名	会場	収入予算 (円)	会員	非会員	学生	後援	予定	参加者	率
	開催日		収入実績(円) A		支出実績(円) B		実績の収支差(円) C=A-B(見込み)		
設計用地盤定数の 決め方ー土質ー	JGS会館	558,000	38	10	1	1	57	50	88%
	12月24日		524,000		185,704		338,296		
地盤工学者のための 舗装入門-基礎から 応用まで-	JGS会館	465,000	19	11	1	0	40	31	78%
	1月8日		397,000		270,198		126,802		
既設構造物直下の 液状化対策工法	JGS会館	405,000	45	5	0	1	42	51	121%
	1月13日		522,000		119,759		402,241		
土を固める原理と応用	JGS会館	465,000	46	16	1	0	42	63	150%
	1月26日		796,000		150,984		645,016		
第3回地盤の連続体 力学入門	JGS会館	243,000	13	1	2	0	42	16	38%
	1月28日		88,000		119,675		-31,675		
はじめて学ぶ 土壌・地下水汚染	JGS会館	405,000	20	10	0	0	42	30	71%
	2月10日		330,000		171,636		158,364		
実務における圧密沈下 予測とその対策技術	JGS会館	465,000	17	8	0	2	42	27	64%
	2月15日		324,000		203,607		120,393		
地盤の地震応答 解析の進め方	日大駿河台校舎	522,000	66	31	5	0	40	102	255%
	2月17日		1,364,000		248,817		1,115,183		
H21年度5月～これまでの合計見込み			収入実績(見込み)			収支差の実績(見込み)			
			16,065,000			9,145,519			

7. H21年度開催講習会アンケート結果

(資料21-7-6)

事務局より、アンケート結果の報告がなされた。

来期予定の「地盤材料試験の方法と解説」講習会は今回の不備を踏まえて修正するように提案され、承認された。

8. 事業部会規程について

(資料21-7-7)

古屋委員長より公益社団法人化に向けた変更内容の報告がなされた。

9. 技術普及委員会収支予算案について

(資料21-7-8)

事務局より、講習会支出の技術普及委員会費にWEBラーニングの費用を追加したとの報告がなされた。

審議事項

1. オンデマンド講習会内規について

(資料21-7-9)

久保田情報技研より報告がなされた。内容に関して審議を行い、以下の点が承認された。

- ・ オンデマンド講習会価格を会員、非会員とも一般講習会価格の半額とする。
- ・ 講習内の分割受講に伴う費用案分をしない。
- ・ CPDポイントは事務局が入金の確認を持って付与する。
- ・ 内規の業務範囲と業務作業費を削除する。

2. 平成21年度技術講習会進捗

(資料21-7-10)

事務局より、今年度の講習会進捗の報告がなされた。

3. 平成22年度技術講習会テーマ案

(資料21-7-11)

事務局より、来年度の講習会テーマ案の報告がなされた。内容に関して審議を行い、以下の点が承認された。

- ・ 地盤の応答解析入門講習会を講師の執筆本に併せて、10月実施に変更する。
- ・ 地盤の連続体力学入門講習会時期を7月に変更する。また、すでにオンデマンド化されているので、来年度の予定からオンデマンド化を除外する。
- ・ 実務における圧密沈下予測とその対策技術講習会をオンデマンド化して、来年度で終了する。開催時期を8月以後に変更する。
- ・ 既設構造物直下の液状化対策工法講習会の安田先生より、学会名で対策工法事例集を収集したいとの意見があることが報告され、承認された。
- ・ 続・土壌・地下水汚染の調査・予測・対策講習会の時間配分を変更する。12時30分開始として、西垣先生の時間を20分間とする。他の講習時間を50分とし、各講習間10分の休憩を入れる。
- ・ 6月の建設環境に関する技術-技術士受験のポイント-講習会の講師については新規開催講習会のため古屋委員長が選定することになり、講師候補者を何名かピックアップしているところである。

4. コース制修了書交付について

(資料21-7-12)

事務局より、終了証のデザインについて見本の報告があり、承認された。また、以下の点が承認された。

- ・ 年度毎の修了者を学会誌とHPに当人の承諾を得て、掲載する。
- ・ 学会誌の掲載位置は、会告内お知らせとする。
- ・ HPの掲載位置はトップの「講習会新着情報」欄と事業部の「技術講習会コース制導入」内とする。
- ・ 修了者へのインセンティブを設けない。

5. 事業部会への報告・審議事項

審議事項の1, 2, 4の内容について事業部会に報告する。

その他

事務局より、請求書封筒に講習会予定表とオンデマンド講習会の案内を同封する提案がなされ、承認された。なお、講習会予定表には予定時期の変更や講習の開催されない場合がある内容の注釈を付けることが承認された。

次回委員会開催日 平成22年 4月 28日(水)14:00～17:00 於:地盤工学会地下A会議室